

AXM-P01

オーディオマスターユニット

取扱説明書

目次 4 ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

 **警告**

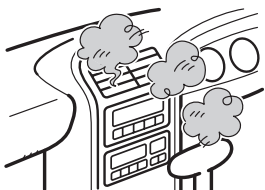
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

CONTENTS

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください…… 2

- 絵表示について
- 安全上のご注意

ご使用になる前に

各部の名前…… 6

- ディスプレイユニット
- ステアリングリモコン
- カードリモコン

本機の特長…… 8

リモコンの準備…… 9

- リモコンに電池を入れる

リモコンの操作モード
切り換えスイッチ…… 10

バッテリー上がりを防ぐために…… 11

本機のリセット…… 11

ここだけ読めばすぐ使えます

基本的な操作…… 12

- 電源を入れる／切る
- ソース切り換え
- 音量調節

初期設定

使用環境を設定する…… 14

- 初期設定メニューを表示する

時計を調整する…… 14

- 時計調整メニューに切り換える
- 時計を調整する
- 正時の時報にあわせる
- オフクロックを設定する
- 初期設定メニューに戻る

画面の設定をする…… 15

- 画面設定メニューに切り換える
- 画面の明るさを調整する
- ディマーを設定する
- 壁紙を選ぶ
- 画面の反転表示の設定をする
- 初期設定メニューに戻る

一般環境設定をする…… 16

- 一般環境設定メニューに切り換える
- 外部機器 (AUX) の設定をする
- 電圧表示の設定をする
- 操作確認音の設定をする
- 初期設定メニューに戻る

メニューロックの設定をする…… 18

オーディオプロセッサの設定をする…… 18

iPodを聞く

iPodのふだんの操作…… 20

聞きたい曲をさがす…… 21

プレイリストを選んで再生する…… 22

表示を切り換える…… 22

- 表示内容を切り換える
- スクロールして表示する

モードの切り換えかた…… 23

再生範囲を切り換える…… 23

いつもと違う曲順で聞く…… 24

再生を一時停止する…… 24

ディスプレイ表示を切り換える…… 25

マルチCDの操作

マルチCDのふだんの操作…… 26

表示を切り換える…… 27

- 表示内容を切り換える
- スクロールして表示する

モードの切り換えかた…… 27

再生範囲を切り換える…… 28

いつもと違う曲順で聞く…… 28

聞きたい曲をさがす…… 29

再生を一時停止する…… 29

ディスプレイ表示を切り換える…… 30

CDのタイトルを入力する…… 30

ディスク番号を指定して
ディスクを選ぶ…… 32

タイトルを見て
聞きたいCDをさがす…… 32

DVDの操作

DVDのふだんの操作…… 34

表示を切り換える……………	35
● 表示内容を切り換える	
● スクロールして表示する	
モードの切り換えかた……………	35
再生範囲を切り換える……………	36
いつもと違う曲順で聞く……………	36
聞きたい曲をさがす……………	37
再生を一時停止する……………	37
ディスプレイ表示を切り換える……………	38
CDのタイトルを入力する……………	38
ディスク番号を指定して ディスクを選ぶ……………	39

地上デジタルTVの操作

地上デジタルTVのふだんの操作……………	40
モードの切り換えかた……………	41
サービス切換……………	41
チャンネルスキャン……………	42
映像を切り換える……………	42
音声・字幕を切り換える……………	43
チャンネルの登録・呼び出し……………	43

TVの操作

TVのふだんの操作……………	44
モードの切り換えかた……………	45
チャンネルを自動的に登録する……………	45
音声を切り換える……………	46
チャンネルを1局ずつ登録する……………	46
チャンネルを1局ずつ呼び出す……………	47

AUXの操作

外部機器 (AUX) を使う……………	48
外部機器 (AUX) の 名称を入力する……………	49

オーディオ調整

オーディオ調整……………	50
● オーディオプロセッサの操作について	
● オーディオプロセッサの機能について	

便利な機能

便利な機能……………	52
● 画面表示をOFFにする	
● ミュート機能	
● 瞬時に音量を小さくする	
エクスターナルユニットの操作……………	53

接続・取り付け

接続・取り付け部品を確認する……………	54
● ディスプレイユニット関係	
● ハイダウェイユニット関係	
● リモコン関係	
接続の前に知ってほしいこと……………	56
● 接続上のご注意	
● 電源配線キットを別売しています	
● コネクタの脱着のしかた	
電源ケーブルの接続……………	57
電源端子の接続……………	58
オーディオプロセッサとの接続例……………	59
パイオニア製品との組み合わせ……………	60
外部機器 (AUX) の接続……………	61
入力設定スイッチの切り換え……………	62
スピーカー・RCA 変換ケーブルの接続……………	60
取り付けの前に知ってほしいこと……………	61
取り付けのポイント……………	62
● 取り付け、固定する前に	
● 両面テープ・面ファスナーを 貼り付ける前に	
● ハイダウェイユニット取り付けのご注意	
● ディスプレイユニット取り付けのご注意	
ハイダウェイユニットの取り付け……………	66
ディスプレイユニットの取り付け……………	66
● 両面テープを使用した取り付け	
● 面ファスナーを使用した取り付け	
● 取り付け台を使用した取り付け (オンダッシュ取り付け)	
● 取り付けホルダーを使用した取り付け (フラッシュマウント取り付け)	
ステアリングリモコンの取り付け……………	70

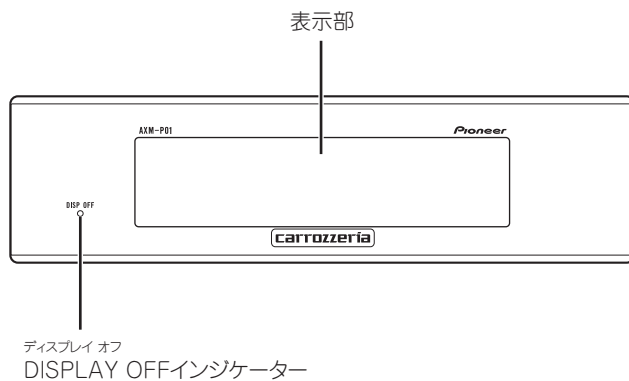
付録

故障かな?と思ったら……………	72
保証書とアフターサービス……………	73
おもな仕様……………	74

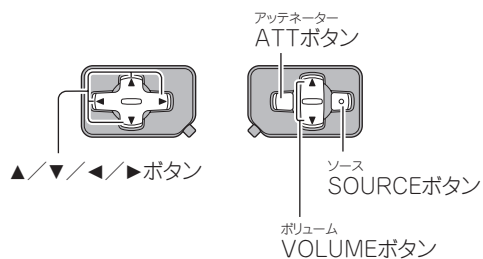
各部の名前

ご使用になる前に

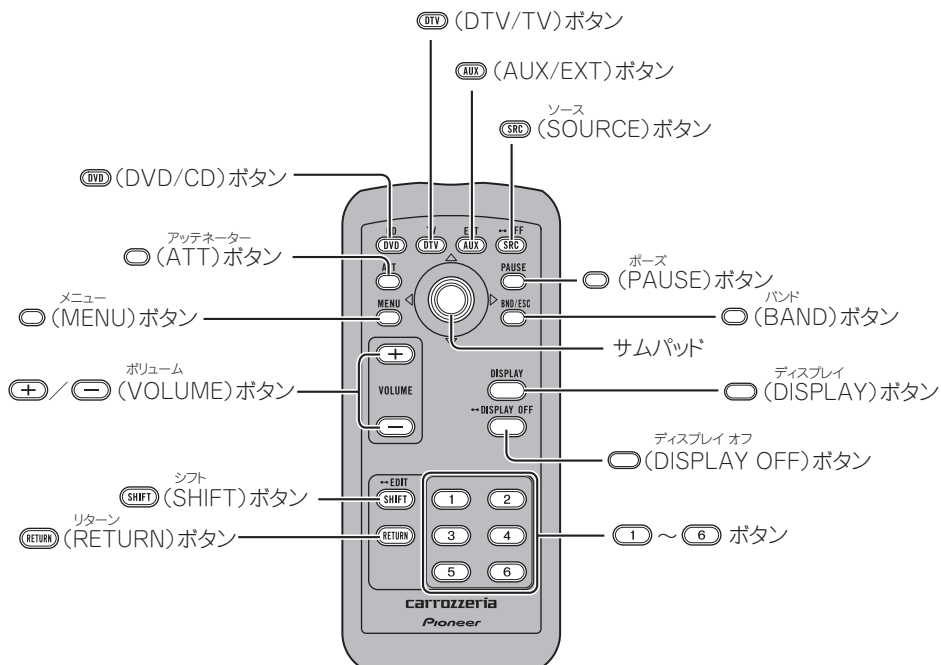
ディスプレイユニット



ステアリングリモコン



カードリモコン



本機の特長

本機は、ODRシリーズやピュアコンポーネントシリーズのオーディオプロセッサ（「RS-A9X」「RS-P90X」「RS-P70xⅡ」「RS-P70x」「DEQ-PO1Ⅱ」「DEQ-PO1」など）をコントロールする、オーディオマスターユニットです。

本機を使用すると、ODRシステムコントロールチューナーCD（例：「RS-D7XⅢ」）やCD/チューナーメインユニット（例：「DEX-PO1Ⅱ」）を使用することなく、お手持ちのカーオーディオを拡張して、ODR・ピュアコンポーネントシリーズの高音質テクノロジーを実現できます。

本機に付属の2種類のリモコンは、本機だけでなく、本機とIP-BUS接続したパイオニア製DVDプレーヤー、地上デジタルTVチューナー、マルチCDプレーヤー、iPod®用アダプターなどの基本的な機能を操作できます。

また、本機には5種類の外部機器（AUX）を接続できます。外部機器（AUX）の種類は、以下のとおりです。

- RCA出力付き外部機器：
AUX1端子またはAUX2端子に接続します。
本機は、**AUX1 Main**または**AUX2 AUX**としてコントロールします。
- デジタル出力付き外部機器：
AUX3端子に接続します。デジタルケーブルの種類によって、COAXIAL（同軸）端子とTOSLINK（角型光）端子を選びます。
本機は、**AUX3 Digital**としてコントロールします。
- 3.5 mm ミニプラグ付き外部機器：
AUX4端子に接続します。
本機は、**AUX4 MiniPlug**としてコントロールします。
- パイオニア製IP-BUS付き外部機器：
AUX5端子に接続します。
本機は、**AUX5 IP-BUS**としてコントロールします。
別売のRCA・バスインターコネクター（例：「CD-RB20」）を使用している場合も、**AUX5 IP-BUS**としてコントロールします。



メモ

- AUXとして接続したい機器に、スピーカー出力しかない場合は、付属のスピーカー・RCA変換ケーブルを使用してください。
(⇒64ページ)

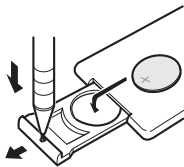
リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

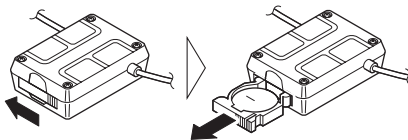
リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を図のようにセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされているので、すぐにお使いいただくことができます。

カードリモコン



ステアリングリモコン



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。



ご注意

- カードリモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作が出来ないことがあります。このようなときは、リモコンを受光部に近づけて操作してください。
- 付属の電池は充電しないでください。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

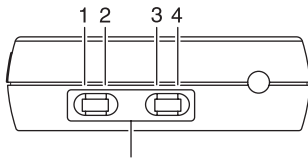
リモコンの操作モード切り換えスイッチ

ご使用前に

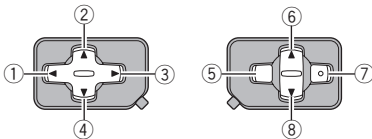
本機に付属のステアリングリモコンは、切り換えスイッチの設定によって、次のように操作モードを切り換えることができます。

- 本機専用リモコンとして使用する
- パイオニア製品汎用リモコンとして使用する

また、ステアリングリモコンの取り付け位置によって、ボタン割り当てを変更することもできます。
次の対応表を参照して、正しく設定してください。



切り換えスイッチ



- ① 本機専用リモコンとして使用する場合
(切り換えスイッチ：1—3)

①	◀
②	▼
③	▶
④	▲
⑤	ATT
⑥	VOLUME (+)
⑦	SOURCE
⑧	VOLUME (-)

- ② 本機専用リモコンとして使用する場合
(切り換えスイッチ：2—3)

①	▶
②	▲
③	◀
④	▼
⑤	ATT
⑥	VOLUME (+)
⑦	SOURCE
⑧	VOLUME (-)

- ③ パイオニア製品汎用リモコンとして使用する場合
(切り換えスイッチ：1—4)

①	◀
②	▼
③	▶
④	▲
⑤	ATT
⑥	VOLUME (+)
⑦	SOURCE
⑧	VOLUME (-)

- ④ パイオニア製品汎用リモコンとして使用する場合
(切り換えスイッチ：2—4)

①	▶
②	▲
③	◀
④	▼
⑤	ATT
⑥	VOLUME (+)
⑦	SOURCE
⑧	VOLUME (-)

バッテリー上がりを防ぐために

本システムをお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本システムの電源がOFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で長時間、車のエンジンスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

📌 ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、本機の設定内容が消去されます。もう一度設定してください。
- オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、組み合わせたオーディオプロセッサの取扱説明書を参照してください。

本機のリセット

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。

📌 リセットを押す前のご注意

- ODRシリーズや、ピュアコンポーネントシリーズのオーディオプロセッサが誤動作した場合、むやみにオーディオプロセッサのリセットボタンを押さないでください。

オーディオプロセッサのリセットボタンを押すと、ネットワークやイコライザーなどのオーディオ設定がすべてリセットされてしまいます。

オーディオプロセッサのリセットボタンを押す前に、お買い上げの販売店にご相談ください。

- オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、組み合わせたオーディオプロセッサの取扱説明書を参照してください。

📌 リセットが必要なとき

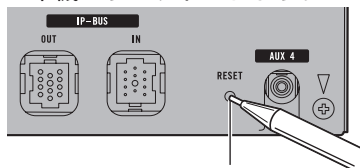
- リセットが必要なのは、次のときです。
 - ・接続が終わったあと
 - ・本機が正しく動作しないとき
 - ・ディスプレイが正しく表示されないとき

📌 リセットを押した後は

- 「オーディオプロセッサの設定をする（➡18ページ）」で、接続したオーディオプロセッサを選んでください。設定しないと、正しく操作できません。
- 本機のリセットを押した後は、接続したオーディオプロセッサのリセットボタンも押してください。

1 ベン先などでリセットボタンを押す


本機がリセットされます。



リセットボタン

基本的な操作

ここでは、電源を入れてから切るまでの本機の基本的な操作を説明しています。

-  (SOURCE)
-  (DVD/CD)
-  (DTV/TV)
-  (AUX/EXT)
-  (VOLUME)


で操作します。


1 (SOURCE) を押す


本機の電源がONになります。


2 / / / を押す

ソースが切り換わります。



-  (SOURCE) を押した場合
テレビ (別売)
→ 地上デジタルTV (別売)
→ DVDプレーヤー (別売)
→ マルチCD (別売)
→ iPod (別売)
→ エクスターナル1 (別売)
→ エクスターナル2 (別売)
→ AUX1 (別売)
→ AUX2 (別売)
→ AUX3 (別売)
→ AUX4 (別売)
→ AUX5 (別売)

-  (DVD/CD) を押した場合
→ DVDプレーヤー (別売)
→ マルチCD (別売)
→ iPod (別売)
→ 電源OFF

-  (DTV/TV) を押した場合
テレビ (別売)
→ 地上デジタルTV (別売)
→ 電源OFF

-  (AUX/EXT) を押した場合
エクスターナル1 (別売)
→ エクスターナル2 (別売)
→ AUX1 (別売)
→ AUX2 (別売)
→ AUX3 (別売)
→ AUX4 (別売)
→ AUX5 (別売)
→ 電源OFF

3 / (VOLUME) を押す

- 音量を調節します。
大きくするとき：
小さくするとき：

4 (SOURCE) を長く押す

本機の電源がOFFになります。



エクスターナルとは

- 本機には、エクスターナルという特殊なソースがあります。このソースには、本機がソースとして対応していない製品（将来発売されるバイオニア製品など）を接続できます。ただし、エクスターナルでは操作できる機能が限られる場合があります。

本機には、2台のエクスターナル製品を接続できます。この場合、エクスターナル1とエクスターナル2が自動で設定されます。



ご注意

- CDやDVDなどがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- 接続していないソースには切り換わりません。ただし、AUXソースは、機器を接続していなくても、切り換えることができます。
- AUXソースに切り換えるには、外部機器（AUX）（⇒16ページ）をあらかじめONにしておきます。

使用環境を設定する

本機を使用する前に、初期設定を行います。
ここでは

- ① 時計調整
- ② 画面設定
- ③ 一般環境設定
- ④ メニューロック
- ⑤ オーディオプロセッサ設定

のそれぞれの設定を行います。

初期設定

初期設定メニューを表示する

1 電源をOFFにする

(SRC)/(DVD)/(DTV)/(AUX)を操作して、電源をOFFにしてください。

2 (SHIFT)を押す

初期設定画面が表示されます。



3 (1)~(4)を押す

- ① : 時計調整メニュー
- ② : 画面設定メニュー (⇒15ページ)
- ③ : 一般環境設定メニュー (⇒16ページ)
- ④ : メニューロック (⇒18ページ)
- ⑤ : オーディオプロセッサ設定 (⇒18ページ)

4 サムパッドを長く押す

電源がOFFになります。

時計を調整する

本機の時計を設定します。

時計調整メニューに切り換える

1 初期設定メニュー中に、(1)を押す

時計調整メニューに切り換わります。



時計を調整する

1 時計調整メニュー中に、サムパッドを左右に動かす

左右に動かすごとに、調整の対象が切り換わります。

時間 ↔ 分

2 サムパッドを上下に動かす

上下に動かすと、時計の調整ができます。

画面の設定をする

本機の画面の設定をします。

画面設定メニューに切り換える

- 1 初期設定メニュー中に、**(2)**を押す

画面設定メニューに切り換わります。



画面の明るさを調整する

- 1 画面設定メニュー中に、**サムパッドを左右に動かす**

左右に動かすごとに、画面の明るさが切り換わります。

ディマーを設定する

夜間、周囲が暗くなったときに画面がまぶしくならないように、車のライトに連動して、ディスプレイの明るさを自動調整します。

- 1 画面設定メニュー中に、**(1)**を押す

押すごとに、ディマーの設定が切り換わります。
ON ↔ OFF

正時の時報にあわせる

- 1 初期設定メニュー中に、**(2)**を押す

分の表示が0になります。

知っている则便利

- 00分から29分までは、分は切り捨てられます。
(例：「10：18」は「10：00」になります。)
- 30分から59分までは、分は切り上げられます。
(例：「10：42」は「11：00」になります。)

オフクロックを設定する

オフクロックの設定をONにすると、本機の電源がOFFのときでも、ディスプレイに時計を表示させることができます。

- 1 時計調整メニュー中に、**(1)**を押す

押すごとに、オフクロックの設定が切り換わります。
ON ↔ OFF

初期設定メニューに戻る

- 1 時計調整メニュー中に、**(RETURN)**を押す

初期設定メニューに戻ります。

画面の設定をする

壁紙を選ぶ

画面の背景パターンを選びます。

- 1 画面設定メニュー中に、**(2)**を押す

押すごとに、背景パターンが切り換わります。

画面の反転表示の設定をする

各ソースを聞いているときなどに、約30秒間操作しないと、画面が自動的に反転表示します。反転は10秒間隔で行われます。ここでは、反転表示のON / OFFを設定します。

- 1 画面設定メニュー中に、**(3)**を押す

押すごとに、反転表示設定が切り換わります。
ON ↔ OFF

初期設定メニューに戻る

- 1 画面設定メニュー中に、**(RETURN)**を押す

初期設定メニューに戻ります。

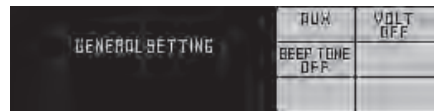
一般環境設定をする

AUX（外部機器）、電圧表示、操作確認音の各設定は、ここから操作します。

一般環境設定メニューに切り換える

- 1 初期設定メニュー中に、**(3)**を押す

一般環境設定メニューに切り換わります。



外部機器（AUX）の設定をする

- 1 一般環境設定メニュー中に、**(1)**を押す

外部機器（AUX）設定画面に切り換わります。

- 2 AUX設定画面中に、**(1)～(5)**を押す

それぞれのボタンを押すごとに、対応した外部機器（AUX）の設定が切り換わります。
ON ↔ OFF

電圧表示の設定をする

本機は、バッテリーからの供給電圧を常にチェックしており、現在供給されている電圧を画面に表示できます。バッテリーからの電圧をチェックすることで、バッテリー上がりの防止に役立ちます。



ご注意

- 表示される電圧は、実際の電圧と異なる場合があります。

1 一般環境設定メニュー中に、 2 を押す

押すごとに、電圧表示の設定が切り換わります。
ON ↔ OFF



電圧が10 V未満になったとき

- 現在供給されている電圧が10 V未満になったときは、「---Volt」と表示されます。このような表示になった場合は、バッテリーが充電されるまでのあいだ、本システムの電源をOFFにしてください。

操作確認音の設定をする

ボタンを押したときに鳴る操作確認音（「ピッ」という音）のON / OFFを設定します。

1 一般環境設定メニュー中に、 3 を押す

押すごとに、操作確認音の設定が切り換わります。
ON ↔ OFF

初期設定メニューに戻る

1 一般環境設定メニュー中に、 RETURN を押す

初期設定メニューに戻ります。

メニューロックの設定をする

メニューロックは、オーディオメニューの詳細設定をロックする機能です。オーディオの設定を誤って消去しないように、オーディオ設定後は、メニューロックしておくことをおすすめします。

1 初期設定メニュー中に、 [4]を押す



押すごとに、メニューロックの設定が切り換わります。
ON ↔ OFF

オーディオプロセッサの設定をする

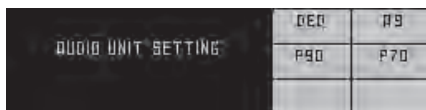
本機に接続されているオーディオプロセッサに合わせて、本機の設定を変更します。本システムを正しく操作するために、必ず設定してください。

1 初期設定メニュー中に、 [5]を押す



オーディオプロセッサ設定画面に切り換わります。

2 オーディオプロセッサ設定画面中に、 [1]～[4]を押す



接続しているオーディオプロセッサに対応したボタンを押してください。

- ① : 「DEQ-P01 II」「DEQ-P01」 接続時
- ② : 「RS-A9X」 接続時
- ③ : 「RS-P90X」 接続時
- ④ : 「RS-P70x II」「RS-P70x」 接続時

メモ

- 本機のリセットを行ったときは、必ずオーディオプロセッサの設定を行ってください。

iPodのふだんの操作

iPod用アダプター（例：「CD-IB10Ⅱ」）を接続したときは、本機でiPodをコントロールできます。

ここだけの操作で、iPodの音楽を聞くことができます。

通常再生画面



- ① 曲番号
- ② 再生経過時間
- ③ 文字情報表示

1 ソースをiPodにする

(SRC)または**(DVD)**を押して、iPodを選んでください。

- iPodが接続されているときは、iPodの画面上に「carrozzeria」、またはチェックマーク(✓)が表示されます。

2 サムパッドを左右に操作する

聞きたい曲を選びます。

前の曲を選ぶとき：左に操作する

次の曲を選ぶとき：右に操作する

- 再生範囲が**REPEAT ONE**（1曲リピート）になっているときは、サムパッドを操作しても、曲を選ぶことはできません。

3 サムパッドを左右に長く操作する

早送り／早戻しをします。
早送り：右に長く操作する
早戻し：左に長く操作する

4 iPodの操作をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする。

メモ

- イグニッションスイッチがONまたはACCのときは、接続されているiPodは自動的に充電されます。
- iPodの接続中は、iPod自体を操作して電源をON / OFFすることはできません。
- iPodを接続するときは、ヘッドホンを外してください。
- iPodを接続したままイグニッションスイッチをOFFにすると、約2分後にiPodの電源がOFFになります。

聞きたい曲をさがす

プレイリスト、ジャンル、アーティスト、アルバムからのリストから、お好みのアーティストやアルバムなどを選んで再生できます。

1 サムパッドを上下に操作する

カテゴリーを選びます。
上下に操作することで、次のように切り換わります。

PLAYLIST (プレイリスト)
↔ ARTIST (アーティスト)
↔ ALBUM (アルバム)
↔ SONG (曲)
↔ GENRE (ジャンル)

●機能選択モード表示中は、操作できません。

2 サムパッドを右に操作して、カテゴリーを確定する

選んだカテゴリー内のリストが表示されます。

3 サムパッドを上下に操作する

選んだカテゴリー内でリストを選びます。
プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、ジャンルのリストの中から選んでください。

4 サムパッドを右に操作して、リストを確定する

選んだリスト内のリストが表示されます。

5 手順3、4を繰り返し操作し、聞きたい曲を選ぶ



メモ

- GENRE (ジャンル)、ARTIST (アーティスト)、ALBUM (アルバム)、SONG (曲)のリストを選んでいるときは、選んだリスト内の曲を通して再生できます。サムパッドを右に長く操作してください。
- 1つ上の階層のリストに戻るには、サムパッドを左に操作してください。
- 最上位階層のリストに戻るには、サムパッドを左に長く操作してください。
- iPodに収録されている文字によっては、本機は正しく表示しないことがあります。

プレイリストを選んで再生する

iPodの「PLAYLIST（プレイリスト）」から、聞きたいプレイリストや曲を選んで再生できます。

1 サムパッドを上下に操作する

PLAYLIST（プレイリスト）を選びます。

上下に操作すると、次のように切り換わります。

PLAYLIST（プレイリスト）

↔ ARTIST（アーティスト）

↔ ALBUM（アルバム）

↔ SONG（曲）

↔ GENRE（ジャンル）

2 「聞きたい曲をさがす」と同様の操作で、再生を行う

「聞きたい曲をさがす（⇒21ページ）」を参照して、曲を再生してください。



メモ

- プレイリスト内の曲を通して再生するには、サムパッドを右に長く操作してください。
- 1つ上の階層のリストに戻るには、サムパッドを左に操作してください。
- 最上位階層のリストに戻るには、サムパッドを左に長く操作してください。
- プレイリストに曲が収録されていないときは、STOPが表示されて、再生が停止します。
- iPodに収録されている文字によっては、本機は正しく表示しないことがあります。

表示を切り換える

iPodに記録されている曲名やアーティスト名、アルバムタイトルなどを表示させることができます。

また、隠れている文字をスクロール表示することもできます。

表示内容を切り換える

1 (DISPLAY) を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

曲名表示

→ アーティスト名表示

→ アルバムタイトル表示

- 曲番号と再生経過時間は、常に表示されています。
- 本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。iPodに漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。
- iPodに収録されている文字によっては、本機は正しく表示しないことがあります。

スクロールして表示する

1 (DISPLAY) を長く押す

長く押すと、隠れている文字が順番に表示されます。

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 サムパッドを長く押す

機能選択モードに切り換わります。

機能選択モード



2 ①～⑥を押す

- ①：再生範囲切り換え
- ②：シャッフル再生設定
(⇒24ページ)
- ③：一時停止設定
(⇒24ページ)
- ⑥：ディスプレイ表示設定
(⇒25ページ)

3 サムパッドを長く押す

通常再生画面に戻ります。

再生範囲を切り換える

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、今聞いているリストを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。



再生範囲について

- 再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

表示	再生範囲
REPEAT ONE	再生中の曲を、繰り返し再生します。
REPEAT ALL	再生中のリストを、繰り返し再生します。

1 機能選択モード表示中に、①を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

REPEAT ALL（全曲リピート）
→ REPEAT ONE（1曲リピート）



メモ

- 再生範囲がREPEAT ONE（1曲リピート）になっているときは、サムパッドを操作しても、曲を選ぶことはできません。

いつもと違う曲順で聞く

いつもと違う曲順で再生することができます。



シャッフル再生について

- シャッフル再生する方法は、次の中から選ぶことができます。

表示	再生範囲
SHUFFLE SONGS	再生中のリスト内の曲をランダムに再生します。
SHUFFLE ALBUMS	アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番どおりに再生します。
SHUFFLE OFF	曲を順番どおりに再生します。

1 機能選択モード表示中に、 ②を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

SHUFFLE OFF (オフ)

→ SHUFFLE SONGS
(ソングシャッフル)

→ SHUFFLE ALBUMS
(アルバムシャッフル)

再生を一時停止する

再生を一時停止できます。

1

機能選択モード表示中に、 ③を押す

押すごとに、ポーズの設定が切り換わります。

ON ↔ OFF

ディスプレイ表示を切り換える

ディスプレイの表示を、ノーマル表示とシンプル表示の間で切り換えることができます。

1 機能選択モード表示中に、を押す

押すごとに、ディスプレイ表示の設定が切り換わります。

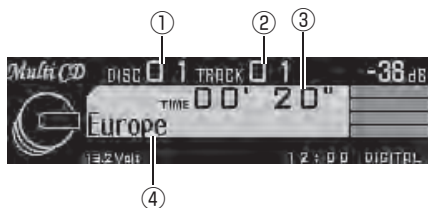
ノーマル表示 ↔ シンプル表示

マルチCDのふだんの操作

マルチCD（例：「CDX-P1270」）を接続したときは、本機でマルチCDをコントロールできます。

ここだけの操作で、マルチCDの音楽を聞くことができます。

通常再生画面



- ① ディスク番号
- ② 曲番号
- ③ 再生経過時間
- ④ 文字情報表示

1 ソースをマルチCDにする

(SRC)または**(DVD)**を押して、マルチCDを選んでください。

- マルチCDにマガジンがセットされていることを確認してください。マガジンがセットされていないと、マルチCDを選ぶことができません。

2 サムパッドを上下に操作する

聞きたいディスクを選びます。

前のディスクを選ぶとき：下に操作する
次のディスクを選ぶとき：上に操作する

- ディスク番号を直接指定して選ぶこともできます。（⇒32ページ）

3 サムパッドを左右に操作する

聞きたい曲を選びます。

前の曲を選ぶとき：左に操作する
次の曲を選ぶとき：右に操作する

4 サムパッドを左右に長く操作する

早送り／早戻しをします。

早送り：右に長く操作する
早戻し：左に長く操作する

5 マルチCDの操作をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする。

メモ

- マルチCDが準備動作（ディスクの有無の確認やディスク情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると**READY**が表示されません。
- マルチCD再生中にマガジンを取り出したときは、**NO MAGAZINE**が表示されます。バッテリーの消耗を防ぐため、CD再生しないときは、システムの電源をOFFにしてください。（再びマガジンをセットすると、CD再生を始めます。）
- マルチCDの中にディスクがセットされていないときは、**NO DISC**が表示されます。
- 本機とマルチCDを光デジタルラインで接続しているときは、**DIGITAL**が表示されます。

表示を切り換える

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（例：「CDX-P1270」）に「CD TEXT」をセットしたとき、曲名やアーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示することもできます。

表示内容を切り換える

1 (DISPLAY) を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

- ディスクタイトル表示
- ディスクアーティスト名表示
- 曲名表示
- トラックアーティスト名表示
- 再生経過時間は、常に表示されています。
- 本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

スクロールして表示する

1 (DISPLAY) を長く押す

長く押すと、隠れている文字が順番に表示されます。

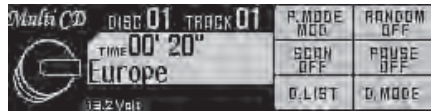
モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 サムパッドを長く押す

機能選択モードに切り換わります。

機能選択モード



2 を押す

- ① : 再生範囲切り換え (→28ページ)
- ② : ランダム再生設定 (→28ページ)
- ③ : スキャン再生設定 (→29ページ)
- ④ : 一時停止設定 (→29ページ)
- ⑤ : ディスクタイトルリスト (→32ページ)
- ⑥ : ディスプレイ表示設定 (→30ページ)

3 サムパッドを長く押す

通常再生画面に戻ります。

再生範囲を切り換える

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、今聞いているリストを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。



再生範囲について

- 再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

表示	再生範囲
P.MODE MCD	マルチCDにセットされている、すべてのCDを通して再生します。 (通常はこのモードにしておきます。)
P.MODE D.REPEAT	再生中のディスクを、繰り返し再生します。
P.MODE REPEAT	再生中の曲を、繰り返し再生します。

1 機能選択モード表示中に、

①を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

- P.MODE MCD
(マルチCDリピート)
- P.MODE D.REPEAT
(ディスクリピート)
- P.MODE REPEAT
(1曲リピート)

いつもと違う曲順で聞く

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違う曲順で音楽を楽しみたいときに便利です

1 ランダム再生をする範囲を選んでおく

ランダム再生は、選んだ再生範囲内で行われます。

2 機能選択モード表示中に、**②**を押す

押すごとに、ランダム再生の設定が切り換わります。

ON ↔ OFF

ONにすると、次の曲（ディスク）から、ランダムに再生されます。



メモ

- 再生範囲がP.MODE REPEATのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
・マルチCD : P.MODE D.REPEAT

聞きたい曲をさがす

曲や、ディスクの始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます(スキャンプレイ)。聞きたい曲を探すときに便利です。スキャンプレイの種類は、再生範囲切換で設定できます。

スキャンの種類と再生範囲切換の設定

種類	再生範囲切換の設定
トラック スキャン	再生範囲を P.MODE D.REPEAT (ディスクリピート) または P.MODE REPEAT (トラックリピート) に切り換えます。
ディスク スキャン	再生範囲を P.MODE MCD (マルチCDリピート) に切り換えます。

- トラックスキャン再生は、再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生します。
- ディスクスキャン再生は、マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

再生を一時停止する

再生を一時停止できます。

1 機能選択モード表示中に、を押す

押すごとに、ポーズの設定が切り換わりします。
ON ↔ OFF

1 スキャン再生をする範囲 を選んでおく

スキャン再生は、選んだ再生範囲内で行われます。

2 機能選択モード表示中に、を押す

押すごとに、スキャン再生の設定が切り換わりします。

ON ↔ OFF

ONにすると、曲の始めから約10秒間が徐々に再生されます。

メモ

- スキャン再生を始めた曲(またはCD)まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。
- トラックリピートのときにスキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わりします。

ディスプレイ表示を切り換える

ディスプレイの表示を、ノーマル表示とシンプル表示の間で切り換えることができます。

1 機能選択モード表示中に、 ⑥を押す

押すごとに、ディスプレイ表示の設定が切り換わります。
ノーマル表示 ↔ シンプル表示

CDのタイトルを入力する

CDのタイトルを入力してマルチCDに登録できます。登録したタイトルは画面に表示できます。

📌 ご注意

- 文字の入力操作は画面を長く見る必要があります。事故防止のために、運転中は文字の入力操作を行わないでください。
- タイトル入力機能がないマルチCDを組み合わせたときは、操作できません。

1 タイトルを入力したい ディスクを再生する

2 機能選択モード表示中に、 ③(SHIFT)を長く押す

編集画面に切り換わります。



3 ①～③を押す

文字の種類を選びます。

押すボタン	選べる文字
①	アルファベットの小文字 (a～z) アルファベットの大文字 (A～Z) 数字 (0～9) 記号 (!、#、&など)
②	数字 (0～9) 記号 (!、#、&など)
③	カタカナ (ア～ン) 音引き (ー) 拗音・促音 (ア、ヨ、ツなど) 濁点・半濁点

4 サムパッドを上下左右に操作する

文字を入力します。

入力する文字を選ぶ

次の文字を選ぶとき：上に操作する
前の文字を選ぶとき：下に操作する

入力する位置を選ぶ

左に移動させるとき：左に操作する
右に移動させるとき：右に操作する

- 画面の大きさのため、入力は2段に分けて行います。
- 空白を作りたいときは、空白にしたい箇所の文字ボックスをとばしてください。



メモ

- タイトルの登録はCDごとに行われます。CDを取り出しても、そのCDでの登録内容は消去されません。
- タイトルは、20文字まで入力できます。(組み合わせた製品によっては、10文字までしか入力できない場合もあります。)
- タイトルは、48枚ぶん登録できます。48枚を超えたときは、いちばん古いCDのタイトルが消去されて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- 「CD TEXT」には、タイトルを入力できません。

5 手順3、4の操作を繰り返す

全ての文字を入力します。

6 を押す

入力したタイトルを登録します。

7 を押す

機能選択モードに戻ります。

ディスク番号を指定して ディスクを選ぶ

ディスク番号を直接指定して、聞きたいディスクを選ぶことができます。

1 機能選択モード表示中に、 [SHIFT]を押す

ディスク番号表示画面に切り換わります。



2 [SHIFT]を押す

押すごとに、ディスク番号が切り換わります。

1～6枚目表示

↔ 7～12枚目表示

3 [1]～[6]を押す

ディスクを選びます。

4 [RETURN]を押す

機能選択モードに戻ります。



メモ

- ディスクがセットされていないディスク番号は、選ばせません。

タイトルを見て 聞きたいCDをさがす

CDのタイトル（ディスクリスト）を見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

ディスクタイトル入力（→30ページ）で入力したタイトルのほか、「CD TEXT」のタイトルを使ってリスト表示します。



メモ

- タイトルを入力していないCDは、何も表示しません。

1 機能選択モード表示中に、 [5]を押す

ディスクリスト画面に切り換わり、ディスクリストが表示されます。

2 サムパッドを左右に 操作する

再生したいディスクを選びます。

3 サムパッドを上 に操作する

選んだディスクを再生します。

4 [RETURN]を押す

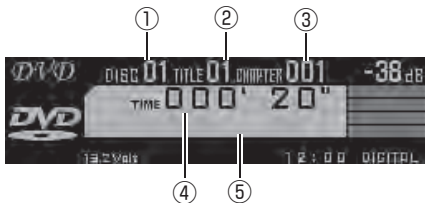
機能選択モードに戻ります。

DVDのふだんの操作

DVDプレーヤー（例：「XDV-P70」）を接続したときは、本機でDVDプレーヤーをコントロールできます。

ここだけの操作で、DVDプレーヤーの操作をすることができます。

通常再生画面



- ① ディスク番号表示
- ② タイトル／フォルダー番号表示
- ③ チャプター／曲番号表示
- ④ 再生経過時間
- ⑤ 文字情報表示エリア

1 ソースをDVDにする

[SRC]または**[DVD]**を押して、DVDを選んでください。

- マガジン式マルチDVD（例：「XDV-P9 II」）の場合は、マガジンがセットされていることを確認してください。マガジンがセットされていないと、DVDを選ぶことができません。

2 サムパッドを上下に長く操作する

聞きたいディスクを選びます。

前のディスクを選ぶとき：下に長く操作する
次のディスクを選ぶとき：上に長く操作する

- ディスク番号を直接指定して選ぶこともできます。（⇒39ページ）

3 サムパッドを上下に操作する

聞きたいフォルダーを選びます。

前のフォルダーを選ぶとき：下に操作する
次のフォルダーを選ぶとき：上に操作する

- WMA/MP3の再生に対応したDVDプレーヤーを接続したときだけ、操作できます。

4 サムパッドを左右に操作する

聞きたいチャプター／曲を選びます。

前のチャプター／曲を選ぶとき
：左に操作する

次のチャプター／曲を選ぶとき
：右に操作する

5 サムパッドを左右に長く操作する

早送り／早戻しをします。

早送り：右に長く操作する

早戻し：左に長く操作する

6 DVDの操作をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする。

メモ

- DVDプレーヤーが準備動作（ディスクの有無の確認やディスク情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをDVDに切り換えると**READY**が表示されません。
- DVDプレーヤーの中にディスクがセットされていないときは、**NO DISC**が表示されます。
- 本機とDVDプレーヤーを光デジタルラインで接続しているときは、**DIGITAL**が表示されます。

表示を切り換える

「CD TEXT」に対応しているDVDプレーヤー（例：「XDV-P70」）に「CD TEXT」をセットしたとき、曲名やアーティスト名などを表示させることができます。

また、隠れている文字をスクロール表示することもできます。

表示内容を切り換える

1 (DISPLAY) を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

ディスクタイトル表示

→ ディスクアーティスト名表示

→ 曲名表示

→ トラックアーティスト名表示

●再生経過時間は、常に表示されています。

●本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

スクロールして表示する

1 (DISPLAY) を長く押す

長く押すと、隠れている文字が順番に表示されます。

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 サムパッドを長く押す

機能選択モードに切り換わります。

機能選択モード



2 を押す

- ①：再生範囲切り換え (→36ページ)
- ②：ランダム再生設定 (→36ページ)
- ③：スキャン再生設定 (→37ページ)
- ④：一時停止設定 (→37ページ)
- ⑥：ディスプレイ表示設定 (→38ページ)

3 サムパッドを長く押す

通常再生画面に戻ります。

再生範囲を切り換える

今聞いているチャプターを繰り返し再生したり、今聞いている曲をを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

- 再生範囲（繰り返し再生する範囲）は、次の中から選ぶことができます。

表示	再生範囲
P.MODE DISC	再生中のディスクを、繰り返し再生します。
P.MODE CHAPTER	再生中のチャプターを繰り返し再生します。
P.MODE TITLE	再生中のタイトルを、繰り返し再生します。
P.MODE FOLDER	再生中のフォルダーを、繰り返し再生します。
P.MODE REPEAT	再生中の曲を、繰り返し再生します。

1 機能選択モード表示中に、 を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

DVDを再生しているとき
P.MODE DISC（ディスクリピート）
→ P.MODE CHAPTER
（チャプターリピート）
→ P.MODE REPEAT
（タイトルリピート）

CDを再生しているとき
P.MODE DISC（ディスクリピート）
→ P.MODE REPEAT
（トラックリピート）

WMA/MP3を再生しているとき
P.MODE DISC（ディスクリピート）
→ P.MODE FOLDER
（フォルダーリピート）
→ P.MODE REPEAT
（トラックリピート）

いつもと違う曲順で聞く

DVDプレーヤーで、CD/WMA/MP3を再生しているときの機能です

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違う曲順で音楽を楽しみたいときに便利です

1 ランダム再生をする範囲 を選んでおく

ランダム再生は、選んだ再生範囲内で行われます。

2 機能選択モード表示中に、 を押す

押すごとに、ランダム再生の設定が切り換わります。

ON ↔ OFF

ONにすると、次の曲（フォルダー）から、ランダムに再生されます。

メモ

- 再生範囲がP.MODE REPEATのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
 - ・CD : DISC
 - ・WMA/MP3 : FOLDER

聞きたい曲をさがす

DVDプレーヤーで、CD/WMA/MP3を再生しているときの機能です

曲や、フォルダーの始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます（スキャンプレイ）。聞きたい曲を探すときに便利です。スキャンプレイの種類は、再生範囲切換で設定できます。

スキャンの種類と再生範囲切換の設定

種類	再生範囲切換の設定
トラック スキャン	再生範囲をP.MODE DISC（ディスクリピート）またはP.MODE FOLDER（フォルダーリピート）に切り換えます。
フォルダー スキャン	再生範囲をP.MODE DISC（ディスクリピート）に切り換えます。

- トラックスキャン再生は、再生中のディスクまたはフォルダーの全曲を、約10秒ずつ再生します。
- フォルダースキャン再生は、再生中のディスクのすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

1 スキャン再生をする範囲を選んでおく

スキャン再生は、選んだ再生範囲内で行われます。

2 機能選択モード表示中に、を押す

押すごとに、スキャン再生の設定が切り換わります。

ON ↔ OFF

ONにすると、曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

メモ

- スキャン再生を始めた曲（またはフォルダー）まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。
- トラックリピートのときにスキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートまたはフォルダーリピートに切り換わります。

再生を一時停止する

再生を一時停止できます。

1 機能選択モード表示中に、を押す

押すごとに、ポーズの設定が切り換わります。

ON ↔ OFF

ディスプレイ表示を切り換える

ディスプレイの表示を、ノーマル表示とシンプル表示の間で切り換えることができます。

1 機能選択モード表示中に、を押す

押すごとに、ディスプレイ表示の設定が切り換わります。

ノーマル表示 ↔ シンプル表示

CDのタイトルを入力する

DVDプレーヤーで、CDを再生しているときの機能です

CDのタイトルを入力して本機に登録できます。登録したタイトルは画面に表示できます。



ご注意

- 文字の入力操作は画面を長く見る必要があります。事故防止のために、運転中は文字の入力操作を行わないでください。
- タイトル入力機能がないDVDプレーヤーを組み合わせたときは、操作できません。

1 タイトルを入力したいディスクを再生する

2 機能選択モード表示中に、を長く押す

編集画面に切り換わります。

3 タイトルを入力して、登録する

マルチCDのタイトル入力を参照して、入力を行ってください。
(⇒32ページ)



メモ

- タイトルの登録はCDごとに行われます。CDを取り出しても、そのCDでの登録内容は消去されません。
- タイトルは、20文字まで入力できます。(組み合わせた製品によっては、10文字までしか入力できない場合もあります。)
- タイトルは、48枚ぶん登録できます。48枚を超えたときは、いちばん古いCDのタイトルが消去されて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- 「CD TEXT」に対応しているDVDプレーヤー(例:「XDVP70」)を使用している場合、「CD TEXT」にはタイトルを入力できません。

ディスク番号を指定して ディスクを選ぶ

ディスク番号を直接指定して、聞きたいディスクを選ぶことができます。

1 機能選択モード表示中に、 SHIFTを押す

ディスク番号表示画面に切り換わります。



2 SHIFTを押す

押すごとに、ディスク番号が切り換わります。

1～6枚目表示

↔ 7～12枚目表示

3 1～6を押す

ディスクを選びます。

4 RETURNを押す

機能選択モードに戻ります。

メモ

- ディスクがセットされていないディスク番号は、選べません。

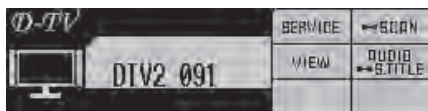
モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 サムパッドを長く押す

機能選択モードに切り換わります。

機能選択モード



2 ①～④を押す

- ①：サービス切り換え
- ②：チャンネルスキャン
(⇒42ページ)
- ③：映像切り換え
(⇒42ページ)
- ④：音声・字幕切り換え
(⇒43ページ)

3 サムパッドを長く押す

通常再生画面に戻ります。

サービス切換

1つのチャンネルに複数のテレビ番組や独立データ番組、ワンセグがあるときに切り換えます。通常放送の受信状態が悪くなったときは、ワンセグに切り換えると、引き続き放送を見ることができます。

1 機能選択モード表示中に、①を押す

押すごとに、サービスが切り換わります。

チャンネルスキャン

バンドごとに受信できるチャンネルを自動的に探して地上デジタルTVチューナーに登録します。

それぞれのバンドには、プリセットメモリーとスキャンメモリーがあり、両方のメモリーに同時にチャンネルが登録されます。

プリセットメモリーには各12局、スキャンメモリーには各200局まで、自動的にチャンネルが登録されます。

1 機能選択モード表示中に、 ②を押す

押すごとに、チャンネルスキャンの設定が切り換わります。

ON ↔ OFF

ONにすると、スキャンを開始します。

映像を切り換える

番組に複数の映像（マルチビュー）があるときに、切り換えることができます。

1 機能選択モード表示中に、 ③を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

映像1 → 映像2 → 映像3



メモ

- 切り換えできる映像は番組によって異なります。また、切り換えた映像が有料のときは、再生できないことがあります。

音声・字幕を切り換える

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときや、二カ国語放送（二重音声）のときに、切り換えることができます。

1 機能選択モード表示中に、を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

複数の音声があるとき
第1音声 → 第2音声 → 第3音声

二カ国語方法（二重音声）のとき
主音声 → 副音声 → 主音声+副音声



メモ

- 切り換えできる音声は番組によって異なります。また、切り換えた音声有料のときは、再生できないことがあります。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えることができます。

1 機能選択モード表示中に、を長く押す

長く押すごとに、次のように切り換わります。

第1言語 → 第2言語 → 字幕OFF



メモ

- 切り換えできる字幕は番組によって異なります。
- 番組によっては、強制的に字幕が表示されることがあります。
- ワンセグ視聴中は動作しません。

チャンネルの登録・呼び出し

チャンネルを1局ずつ登録する

各バンドに6局ずつ、チャンネルを登録しておくことができます。

1 登録したいチャンネルを選局する

サムパッドを左右に操作して、登録したいチャンネルを選局してください。

2 通常画面表示中に、～を長く押す

押したプリセット番号に、チャンネルが登録されます。



メモ

- チャンネルがすでに登録されている場合は、前の登録内容が消去されて、新しいチャンネルが登録されます。

チャンネルを1局ずつ呼び出す

登録したチャンネルを、プリセット番号を指定して直接呼び出します。

1 通常画面表示中に、～を押す

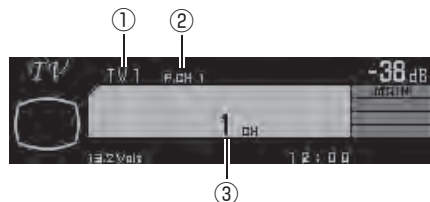
押したプリセット番号に登録されているチャンネルを受信します。

TVのふだんの操作

TV（例：「AVX-P7」）を接続したときは、本機でTVをコントロールできます。

ここだけの操作で、TVの基本操作をすることができます。

通常画面



- ① バンド表示
- ② プリセット番号表示
- ③ チャンネル表示

1 ソースをTVにする

ⓈRC または ⓉV を押して、TVを選んでください。

2 サムパッドを左右に操作する

チャンネルを選びます。
次のチャンネル番号を選ぶとき
：右に操作する
前のチャンネル番号を選ぶとき
：左に操作する

3 サムパッドを左右に長く操作する

チャンネルの自動選局をします。
チャンネルを順に選ぶとき
：右に長く操作する
チャンネルを逆順に選ぶとき
：左に長く操作する

4 サムパッドを上下に操作する

プリセットチャンネルを選びます。
前のプリセットチャンネルを選ぶとき
：下に操作する
次のプリセットチャンネルを選ぶとき
：上に操作する
●プリセットチャンネルは、あらかじめ登録してある場合に選択できます。

5 TVの操作をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする。

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 サムパッドを長く押す

機能選択モードに切り換わります。

機能選択モード



2 ①～②を押す

- ① : BSSM
(⇒45ページ)
- ② : 音声切替設定
(⇒46ページ)

3 サムパッドを長く押す

通常再生画面に戻ります。

チャンネルを自動的に登録する

受信状態の良いチャンネルをさがして、自動的にチャンネル番号の小さい順に登録します。(BSSM)

? BSSMについて

- BSSMは、「ベストステーションズシーケナルメモリー」の略です。受信状態の良いチャンネルをさがして、自動的に登録する機能です。

1 機能選択モード表示中に、①を長く押す

BSSMが始まります。

受信状態の良いチャンネルを自動的に受信して、登録します。

BSSM登録中にもう一度①を押すと、BSSMが途中で解除されます。

メモ

- 受信状態の良いチャンネルが6局より少ないときは、前の登録内容が残ることがあります。
- 受信状態の良いチャンネルが少ない地域では、BSSMが終了するまでに時間がかかります。

音声を切り換える

音声多重放送を受信しているときは、音声を切り換えることができます。



音声多重放送について

- 洋画やニュースの二カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを、音声多重放送と呼びます。

1 機能選択モード表示中に、 ②を押す

押すごとに、音声切換設定が切り換わります。

MAIN（主音声）

→ SUB（副音声）

→ MAIN/SUB（主副音声）

チャンネルを1局ずつ登録する

各バンドに6局ずつ、チャンネルを登録しておくことができます。

1 登録したいチャンネルを 選局する

サムパッドを左右に操作して、登録したいチャンネルを選局してください。

2 機能選択モード表示中に、 SHIFTを押す

プリセット選択画面に切り換わります。

3 プリセット選択画面表示中に、 ①～⑥を長く押す

押したプリセット番号に、チャンネルが登録されます。



メモ

- チャンネルがすでに登録されている場合は、前の登録内容が消去されて、新しいチャンネルが登録されます。

チャンネルを1局ずつ 呼び出す

登録したチャンネルを、プリセット番号を指定して直接呼び出します。

1 機能選択モード表示中に、 SHIFTを押す

プリセット選択画面に切り換わります。

2 プリセット選択画面表示中に、 1～6を押す

押したプリセット番号に登録されているチャンネルを受信します。

外部機器（AUX）を使う

本機には、5台までの外部機器（AUX）を接続できます。

また、それぞれの外部機器（AUX）の名称を変更できます。



メモ

- 本機に接続した外部機器（AUX）は、個別にON / OFFできます（⇒16ページ）。

本機には、下記の機器を外部機器（AUX）として接続できます。

①RCA出力付き外部機器

本機には、**AUX1 Main**または、**AUX2 AUX**として接続します。

- 本機に外部機器（AUX）として接続したい機器にRCA出力がなく、スピーカー出力だけがある場合は、付属のスピーカー・RCA変換ケーブルを使用してください。

②デジタル出力付き外部機器

本機には、**AUX3 Digital**として接続します。

デジタル出力の種類によって、COAXIAL（同軸）かTOSLINK（角型光）を選んで接続してください（⇒61ページ）。

③ミニプラグ付き外部機器

本機には、**AUX4 MiniPlug**として接続します。

④IP-BUS付き外部機器

本機には、**AUX5 IP-BUS**として接続します。別売のRCA・バスインターコネクター（例：「CD-RB20」）を使用している場合も、**AUX5 IP-BUS**として接続します。

通常再生画面



1 ソースをAUXにする

ⓈRCまたはⓈUXを押して、
AUX1 Main、
AUX2 AUX、
AUX3 Digital、
AUX4 MiniPlug、
またはAUX5 IP-BUS
を選んでください。

外部機器 (AUX) の 名称を入力する



AUXの名称を入力して本機に登録できます。登録した名称は画面に表示できます。



ご注意

- 文字の入力操作は画面を長く見る必要があります。事故防止のために、運転中は文字の入力操作を行わないでください。
- ソース切り換え時のアニメーション画面で表示される名称は、変更されません。

1 名称を入力したい外部機器 (AUX) に切り換える

 または  を押して、
AUX1 Main、
AUX2 AUX、
AUX3 Digital、
AUX4 MIniPlug、
またはAUX5 IP-BUS
を選んでください。

2 サムパッドを長く押す

機能選択モードに切り換わります。

3 を長く押す

編集画面に切り換わります。

4 タイトルを入力して、 登録する

マルチCDのタイトル入力を参照して、入力を行ってください。
(⇒30ページ)



メモ

- 名称は、20文字まで入力できます。

オーディオ調整

本機は、下記のオーディオプロセッサをコントロールできます。

- ・デジタル インテグレートッド アンプ
「RS-A9X」
 - ・ユニバーサル デジタル プリアンプ
「RS-P90X」
 - ・ユニバーサル デジタル プリアンプ
イコライザー
「RS-P70xⅡ」 「RS-P70x」
 - ・デジタルプロセッシングユニット
「DEQ-PO1Ⅱ」 「DEQ-PO1」
- 上記以外の製品の接続に関しては、販売店にご相談ください。

オーディオ調整機能の詳細については、組み合わせたオーディオプロセッサの説明書をご覧ください。

オーディオプロセッサの操作について

オーディオプロセッサの説明書では、ODRシリーズ、またはピュアコンポーネントシリーズのリモコンを使用して、操作説明を行っています。

このため、本機のリモコンとは一部操作が異なる場合があります。

下記の表を参照して、オーディオプロセッサの操作を行ってください。

オーディオプロセッサの説明書	本機
▲	サムパッドを上にも操作する
▼	サムパッドを下にも操作する
◀	サムパッドを左にも操作する
▶	サムパッドを右にも操作する
リモートコントローラーのカバーを開ける	サムパッドを長く押す
リモートコントローラーのカバーを閉じる	サムパッドを長く押す

オーディオプロセッサの機能について

本機と、「RS-A9X」「RS-P90X」「RS-P70xⅡ」「RS-P70x」「DEQ-P01Ⅱ」または「DEQ-P01」を組み合わせたとき、一部の機能がオーディオプロセッサの説明書の記述と異なります。詳しくは、下記をご参照ください。

- ソースレベルアジャスター（SLA）の設定内容は、以下のようになります。

「RS-A9X」「RS-P90X」「DEQ-P01Ⅱ」または「DEQ-P01」を接続している場合

- TVおよび地上デジタルTVは同じ出力レベルに設定されます。
- マルチCD、CD、およびAUX3は同じ出力レベルに設定されます。
- AUX2、AUX5、エクスターナル1、およびエクスターナル2は同じ出力レベルに設定されます。
- DVD、iPod、AUX1、AUX4は、それぞれ別の出力レベルに設定できます。

「RS-P70xⅡ」または「RS-P70x」を接続している場合

- TVおよび地上デジタルTVは同じ出力レベルに設定されます。
- マルチCD、CD、DVD、およびAUX3は同じ出力レベルに設定されます。
- AUX2、AUX4、AUX5、エクスターナル1、およびエクスターナル2は同じ出力レベルに設定されます。
- iPod、AUX1は、それぞれ別の出力レベルに設定できます。

- オーディオメニューの調整内容は、最大4つまでメモリーできます。

- 「RS-A9X」または「RS-P90X」を組み合わせた場合、2つのベースメモリー、および2つのカスタムメモリーが使用できます。さらに、ラストメモリーも使用できます。
- 「RS-P70xⅡ」または「RS-P70x」を組み合わせた場合、2つのベースメモリー、および2つのカスタムメモリーが使用できます。
- 「DEQ-P01Ⅱ」または「DEQ-P01」を組み合わせた場合、4つのカスタムメモリーが使用できます。

- AUX1 Main専用のオーディオ調整内容を、カスタムメモリー 1に登録できます。

- ベースメモリーに対して、プロテクト機能が使用できます。

- 「DEQ-P01Ⅱ」または「DEQ-P01」を組み合わせているときは、プロテクト機能は使用できません。



メモ

- オーディオプロセッサの調整には、組み合わせたアンプ、スピーカーなどの製品知識のほか、車室内音場に関する知識および技術が必要となります。調整が困難な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 販売店で既にオーディオ調整が行われている場合は、お客様の車独自の音響空間を考慮した、最適な設定がオーディオプロセッサに登録されています。この場合は、メモリーを呼び出して使用してください。操作方法に関しては、組み合わせたオーディオプロセッサの説明書をご覧ください。

便利な機能

画面表示をOFFにする

画面表示をOFFにすることでノイズを抑え、音質への影響を防ぐことができます。

1 (DISPLAY OFF) を長く押す

長く押すごとに、画面表示のON/OFFが切り換わります。
画面表示がOFFのときは、ディスプレイユニットのDISPLAY OFFインジケーターが点灯します。




メモ

- 画面表示がOFFのときにボタンを押すと、画面が約5秒間表示され、再び消えます。

瞬時に音量を小さくする

アッテネーターを使うと、車内の会話や車外の音が聞き取りにくいときなどに、瞬時に音量を小さくできます。

1 (ATT) を押す

音量が1/10になります。
もう一度  (ATT) を押すと、解除されます。

ミュート機能

ミュート機能のあるパイオニア製ナビゲーションシステムなどと本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。



メモ

- ミュート機能が働いているときは、画面上に“MUTE”が表示され、音声が出力されなくなります。ミュート機能が解除されると、自動的にもとの音量と画面表示に戻ります。

エクスターナルユニットの操作



本機には、2台のエクスターナルユニットを接続できます。

メモ

- エクスターナル1とエクスターナル2は自動で設定されます。

基本画面での操作

1 ソースをエクスターナルにする

 または  を押して、EXTERNAL (エクスターナル1または2) を選んでください。

2 サムパッドを上下左右に操作する

機能は接続した製品によって異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

機能選択モードでの操作

1 サムパッドを長く押す

機能選択モードに切り換わります。

2 ~ を押す

機能は接続した製品によって異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

詳細設定モードでの操作

1 機能選択モード表示中に、 を長く押す

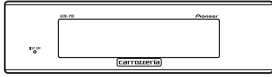
詳細設定モードに切り換わります。

2 ~ を押す

機能は接続した製品によって異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

ディスプレイユニット 関係

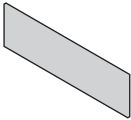


ディスプレイユニット

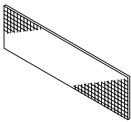


ディスプレイユニット用
延長ケーブル

面ファスナー・両面テープ 関係

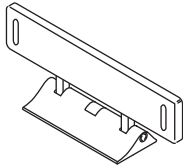


両面テープ × 1



面ファスナー × 1 セット

取り付け台関係



ディスプレイユニット
取り付け台



六角穴つきネジ
(2.6mm × 6mm) × 2



タッピングネジ
(4mm × 16mm) × 1



平ワッシャー × 2

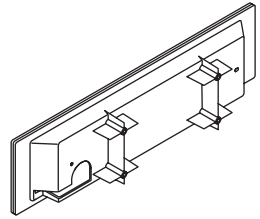


六角レンチ (大)

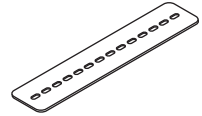


六角レンチ (小)

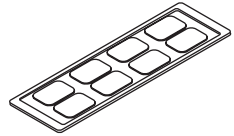
取り付けホルダー関係



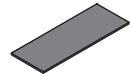
ディスプレイユニット
取り付けホルダー



取り付けホルダー
固定ステー × 2



両面テープセット



保護クッション

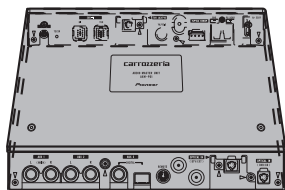


ネジ
(2.6mm × 5mm) × 2



ネジ
(3mm × 12mm) × 4

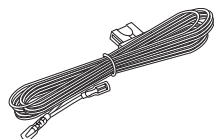
ハイダウェイユニット 関係



ハイダウェイユニット



電源ケーブル



バッテリーケーブル



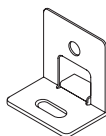
アースケーブル



スピーカー・RCA
変換ケーブル× 2



ショート防止用カバー



取り付けブラケット× 4

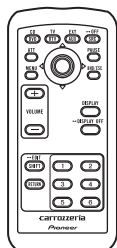


タッピングネジ
(4mm × 12mm) × 4



座付きネジ
(4mm × 8mm) × 4

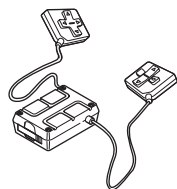
リモコン関係



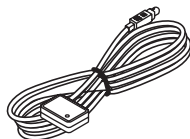
カードリモコン



ステアリングリモコン用
両面テープ



ステアリングリモコン



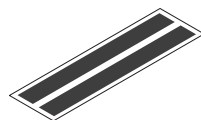
リモコン受光部



リモコン受光部用
両面テープ



リモコン変換ケーブル



保護シール× 2

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンブなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



電源ケーブルの接続

本体(ハイダウェイユニット)

注:ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

黄ストライプ

6 m

ヒューズ(4 A)

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注:製品の発煙・故障を防ぐために、アース線を必ずいちばん初めに接続してください。

黒ストライプ

1.5 m

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

赤

6 m

ヒューズ抵抗

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

橙/白

6 m

ヒューズ抵抗

イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路(時計の照明回路やスモールランプ回路など)に接続してください。

黄/黒

6 m

ミュート

パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。)組み合わせた別売製品に黄/黒リード線(セルラーミュートまたはミュート)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

注:赤/灰、橙/白、バッテリー電源線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注:電源ケーブルの、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

システムリモートコントロール

外部アンプをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)外部アンプのシステムリモートコントロール端子に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

青/白

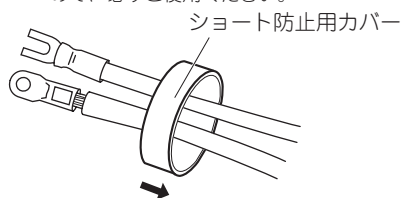
6 m

電源端子の接続

バッテリー電源ケーブル、アースケーブルを端子に接続するときには、ショート防止用カバーをかぶせます。

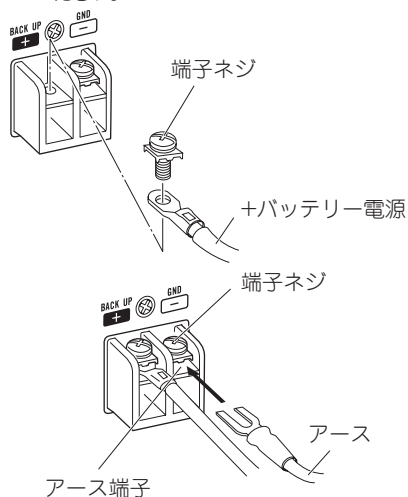
1 リード線にカバーを通す

- このカバーはショートを防ぐ大切なものですので、必ずご使用ください。

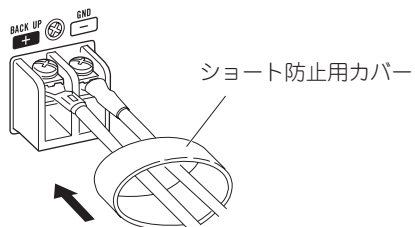


2 各リード線を接続する

- リード線は端子ネジでしっかりと固定してください。



3 カバーを端子全体にかぶせる



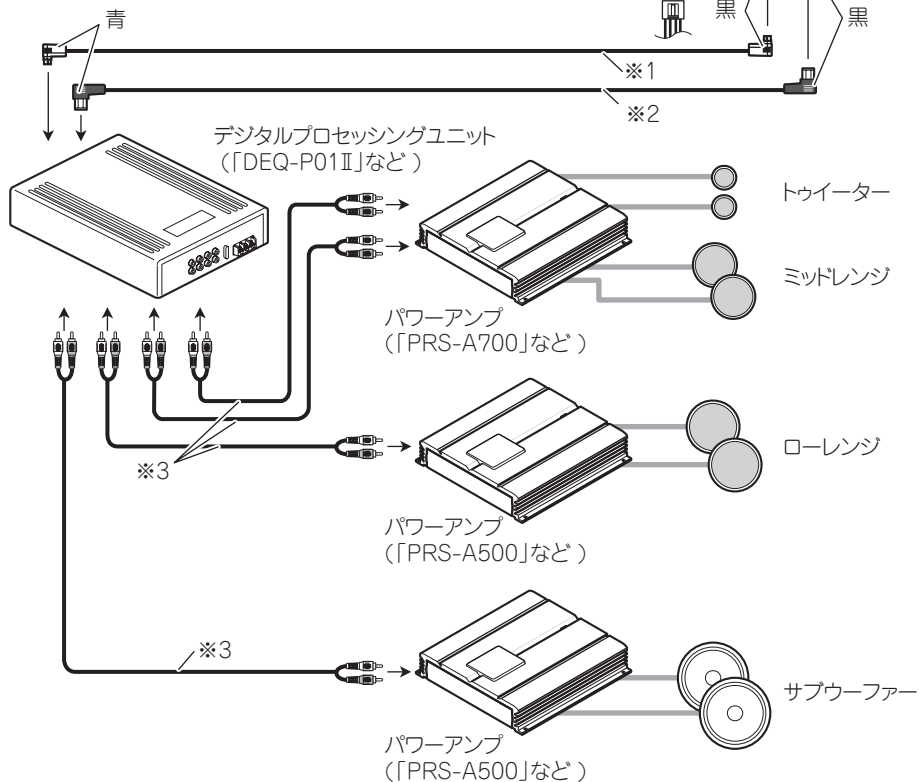
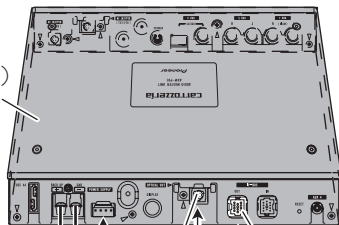
オーディオプロセッサとの接続例

※1:光デジタルライン
（「CD-AD600」など）（別売）

※2:IP-BUS ケーブル
（「CD-IP600」など）（別売）

※3:市販のRCAケーブル（別売）

本体
（ハイダウエイユニット）



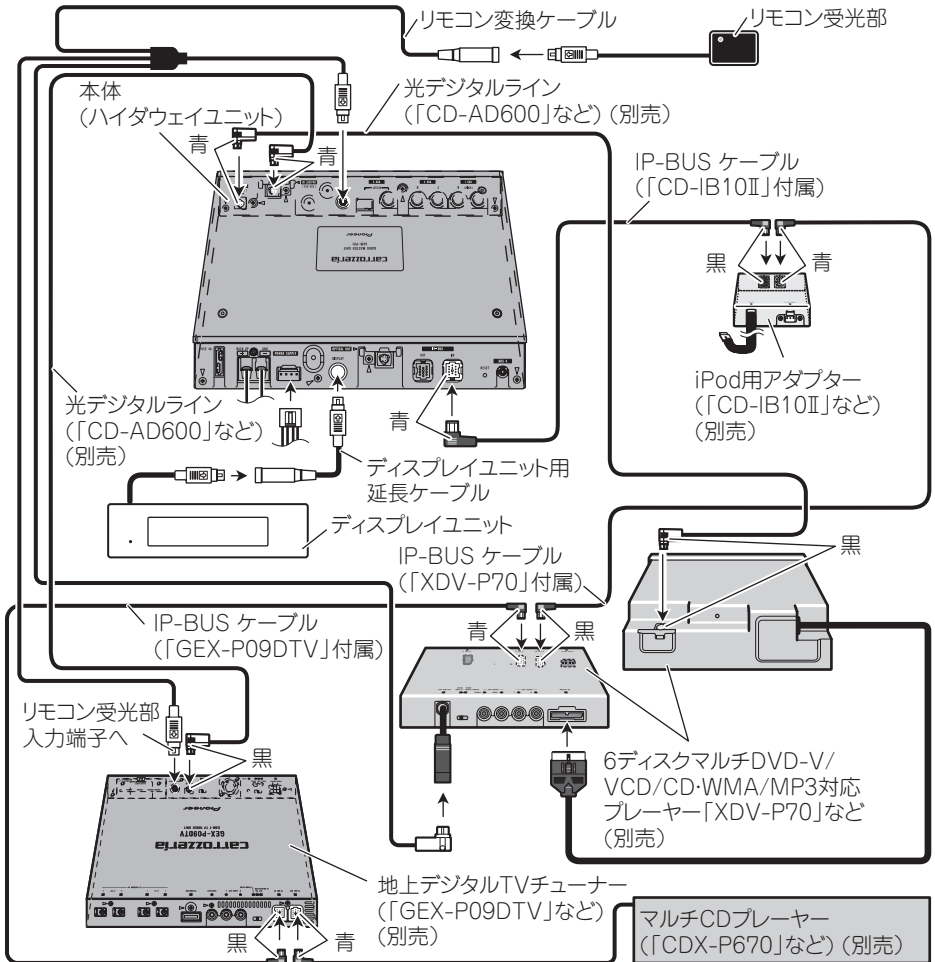
接続・取り付け

メモ

●この接続図は一例です。お手持ちのオーディオプロセッサとの接続に関して詳しくは、オーディオプロセッサの取扱説明書をご覧ください。ただか、販売店にご相談ください。

パイオニア製品との組み合わせ

「GEX-P07DTV」 + 「CD-IB10II」 + 「XDV-P70」 + 「CDX-P1270」の組み合わせ例



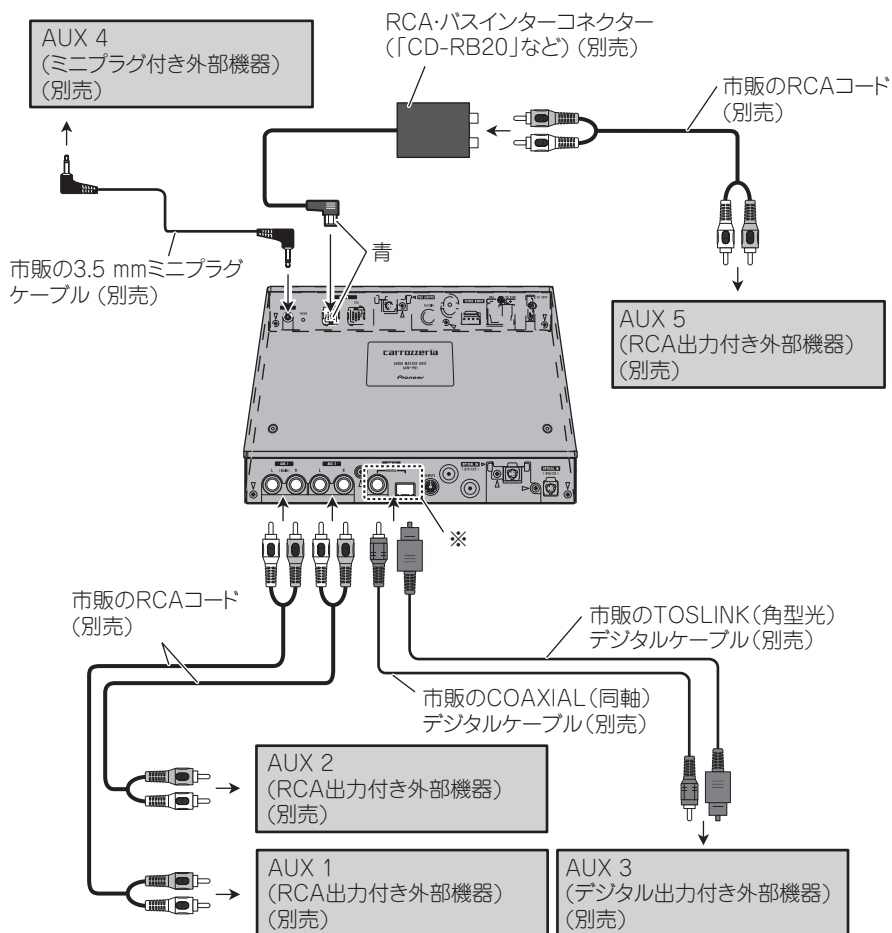
接続・取り付け



メモ

- この接続図は一例です。お手持ちのパイオニア製品との接続に関して詳しくは、それぞれの製品の取扱説明書をご覧ください。販売店にご相談ください。
- 光デジタルラインは、クランプを使用してください。
- 地上デジタルTVチューナーや、DVDプレーヤーを接続しないときは、リモコン変換ケーブルは使用しません。

外部機器 (AUX) の接続



※接続したい機器のデジタル出力端子の形状に応じて、COAXIAL (同軸) デジタル端子か、TOSLINK (角型光) デジタル端子を選んでください。



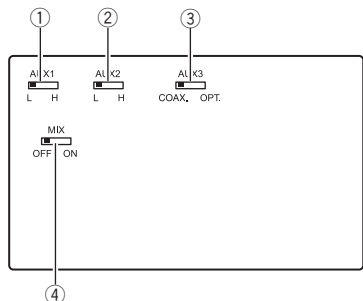
メモ

●接続したい機器にRCAオーディオ出力がない場合は、付属のスピーカー・RCA変換ケーブルをご使用ください。(➡62ページ)

入力設定スイッチの切り換え

本機に接続したAUX（外部機器）に応じて、入力設定スイッチを正しく設定してください。

入力設定スイッチは、ハイダウエイユニットの裏面にあります。



① 入力レベル設定スイッチ (AUX1 Main)

AUX1の入力レベルを、**HIGH**または**LOW**に切り換えます。アンプ内蔵の製品を接続しているときは、**HIGH**に設定します。

② 入力レベル設定スイッチ (AUX2 AUX)

AUX2の入力レベルを、**HIGH**または**LOW**に切り換えます。アンプ内蔵の製品を接続しているときは、**HIGH**に設定します。

③ デジタル入力切換スイッチ (AUX3 Digital)

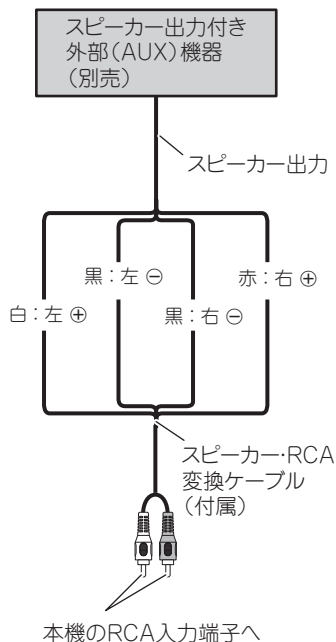
AUX3に接続した機器のデジタル出力端子の形状にあわせて、**COAX.** (COAXIAL (同軸) デジタル) または **OPT.** (TOSLINK (角型光) デジタル) を選びます。

④ ミキシング設定スイッチ (AUX1 Main、AUX2 AUX)

AUX1 Mainと**AUX2 AUX**の音声をミックスするかどうかを選びます。

スピーカー・RCA変換ケーブルの接続

RCA 出力がないカーステレオをAUX1またはAUX2に接続する場合は、付属のスピーカー・RCA変換ケーブルを使用します。



取り付けの前に知ってほしいこと

ダッシュボード付近に本製品を取り付ける場合のご注意

下記の点にご注意ください。

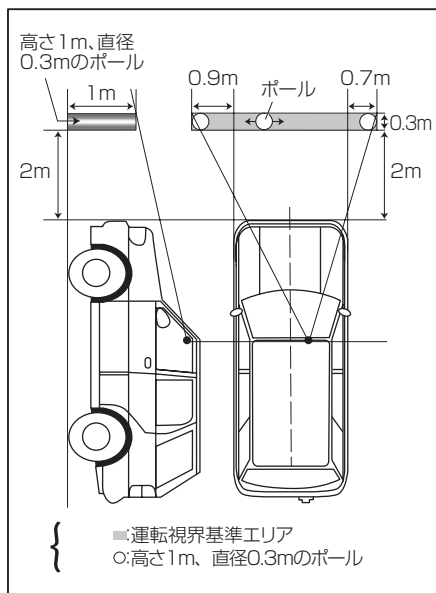
- 前方視界を妨げない
- 直前側方視界を妨げない
- エアバッグシステムの動作を妨げない
- ナビゲーションモニター、ディスプレイ部に関しては運転中の視線移動が少ないように

前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準*に適合せず車検に通らなったり整備不良の対象となる場合があります。

*保安基準とは、昭和26年7月28日施行運輸省令第67号道路運送車両の保安基準における第21条及び第44条第5項の告示で定める基準をいいます。

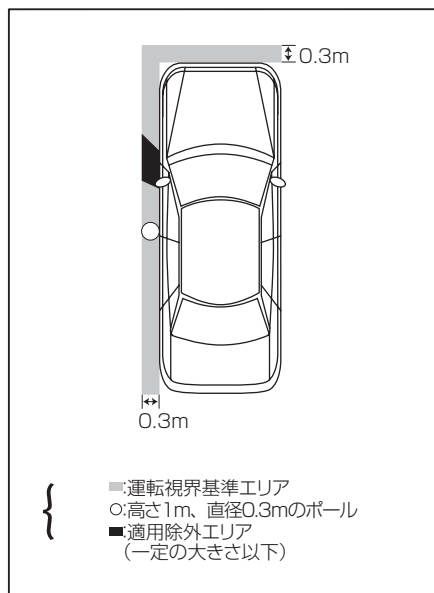
前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。



直前側方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けてください。



接続・取り付け

注) いずれの基準も左ハンドル車の場合は左右逆となります。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

両面テープ・面ファスナーを貼り付ける前に

- 両面テープや面ファスナーを貼り付けるところは、中性洗剤などで油分、汚れを落としてください。
- 両面テープや面ファスナーの接着面は、指で触れないようにしてください。接着面に触れると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 両面テープや面ファスナーは、貼りなおさないでください。貼りなおすと、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

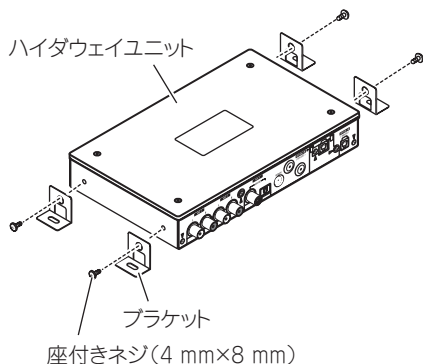
ハイダウェイユニット取り付けの ご注意

- ハイダウェイユニットの取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に作業を依頼してください。誤った取り付け・配線をすると、車両に重大な支障をきたす場合があります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、電気配線・パイプ類・タンクなどの位置を確認のうえ、それらと干渉・接触しないように注意してください。
- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 次のような場所には絶対に取り付けないでください。高温により故障するおそれがあります。
 - ◆ダッシュボードやリアトレイの上などのように、直射日光の当たる場所
 - ◆ヒーターの吹き出し口の近く
- ドア近くなど、雨水がかかりやすい場所には取り付けないでください。
- スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- ハイダウェイユニットを車室内に取り付ける場合は、しっかりと固定してください。外れると事故やケガの原因となります。

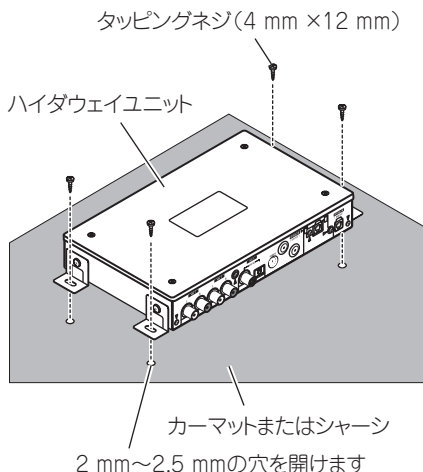
- ハイダウェイユニットを設置する床面の下部に、マフラーなど高温になるものがあり、床面が熱くなる場合、保護回路が働き動作停止することがあります。床面が熱くなる場所には取り付けないでください。
 - シート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。
 - 前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの操作を妨げる場所には絶対に取り付けしないでください。また、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。
 - 天井などの不安定な場所に取り付けしないでください。落下すると、事故やケガの原因となります。
 - サンバイザーなどの可動部に取り付けしないでください。落下すると、事故やケガの原因となります。
 - 振動の多い場所や不安定な場所など、しっかり固定できない場所には取り付けしないでください。外れると、運転操作の妨げとなり、事故やケガの原因となります。
 - ディスプレイユニットやネジなどが緩んでいないか、時々確認してください。ネジなどが緩んだまま使用すると、本機が外れたときに、事故やケガの原因となります。
- ## ディスプレイユニット取り付けの ご注意
- ディスプレイユニットの取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に作業を依頼してください。誤った取り付け・配線をする、車両に重大な支障をきたす場合があります。
 - 車体に穴を開けて取り付ける場合は、エアバッグ・電気配線・パイプ類・タンクなどの位置を確認のうえ、それらと干渉・接触しないように注意してください。
 - 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
 - エアバッグなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないように取り付けてください。
 - エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。
 - コード類は、運転操作の妨げにならないようテープでまとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となり危険です。

ハイダウェイユニットの取り付け

1 ハイダウェイユニットに、ブラケットを取り付ける



2 ハイダウェイユニットを固定する



接続・取り付け

ディスプレイユニットの取り付け

ディスプレイユニットは、次の方法で取り付けます。

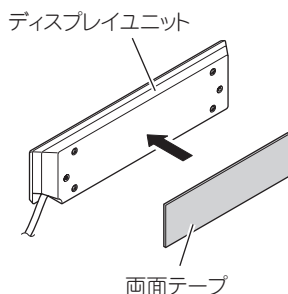
- ① 両面テープを使用した取り付け
- ② 面ファスナーを使用した取り付け
- ③ 取り付け台を使用した取り付け
- ④ 取り付けホルダーを使用した取り付け

両面テープを使用した取り付け

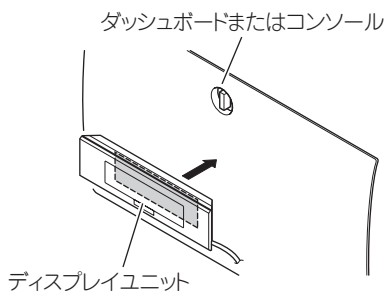
ディスプレイユニットを、付属の両面テープで取り付けます。

- 両面テープを貼り付けるところは、中性洗剤などで油分、汚れを落としてください。
- 両面テープの接着面は、指で触れないようにしてください。接着面に触れると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 両面テープは、貼りなおさないでください。貼りなおすと、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

1 ディ스플레이ユニットの背面に、両面テープを貼り付ける



2 ディ스플레이ユニットを貼り付ける



3 ディスプレイケーブルの処理をする

- ケーブルは、運転操作の妨げにならないように固定してください。

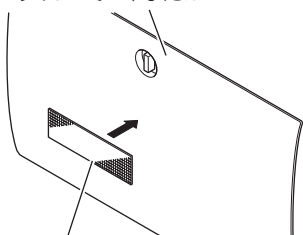
面ファスナーを使用した取り付け

ディスプレイユニットを、付属の面ファスナーで取り付けます。

- 面ファスナーを貼り付ける場所は、中性洗剤などで油分、汚れを落としてください。
- 面ファスナーの接着面は、指で触れないようにしてください。接着面に触れると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 面ファスナーは、貼りなおさないでください。貼りなおすと、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

1 ディ스플레이ユニットを取り付ける場所に、面ファスナー（やわらかい方）を貼り付ける

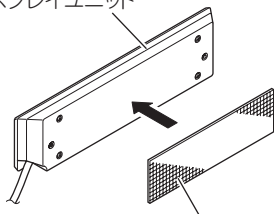
ダッシュボードまたはコンソール



面ファスナー（やわらかい方）

2 ディ스플레이ユニットの背面に、面ファスナー（かたい方）を貼り付ける

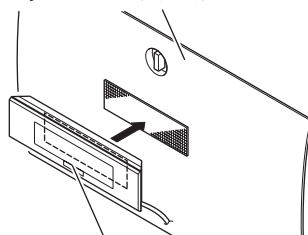
ディスプレイユニット



面ファスナー（かたい方）

3 ディ스플레이ユニットを貼り付ける

ダッシュボードまたはコンソール



ディスプレイユニット

4 ディスプレイケーブルの処理をする

- ケーブルは、運転操作の妨げにならないように固定してください。

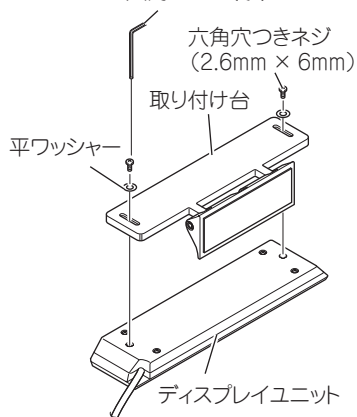
取り付け台を使用した取り付け（オンダッシュ取り付け）

ディスプレイユニットを、付属の取り付け台で取り付けます。

- 両面テープを貼り付ける場所は、中性洗剤などで油分、汚れを落としてください。

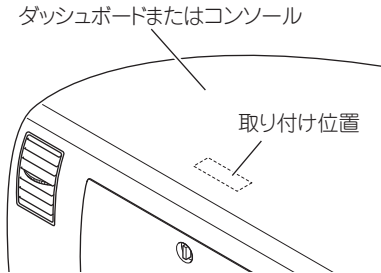
1 ディ스플레이ユニットに、取り付け台を取り付ける

六角レンチ（小）



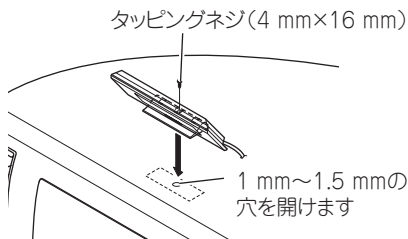
ディスプレイユニットの取り付け

2 ディ스플레이ユニットの取り付け位置を決める

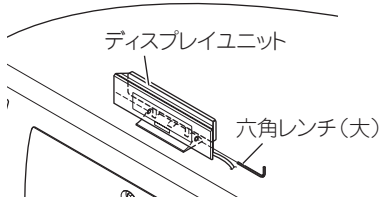


3 両面テープとネジで固定する

- ネジ止めの際は、ディスプレイユニットと取り付け台の角度を調節してください。垂直になっていると、ネジ穴が隠れてしまい、ネジで固定することができません



4 ディ스플레이ユニットの角度を調節する



5 ディ스플레이ケーブルの処理をする

- ケーブルは、運転操作の妨げにならないように固定してください。

取り付けホルダーを使用した取り付け (フラッシュマウント取り付け)

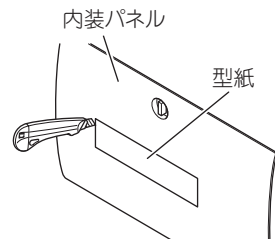
ディスプレイユニットを、付属の取り付けホルダーで取り付けます。

- 取り付けホルダーを使用した取り付けは、高度な専門技術と経験が必要です。取り付けは、安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。取り付け方法を誤ると、正しく取り付けできないだけでなく、本機や車両の故障などの原因となります。
- 両面テープを貼り付けるところは、中性洗剤などで油分、汚れを落としてください。

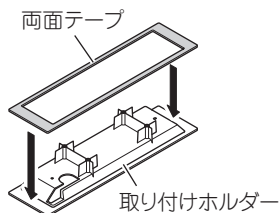
1 取り付けたい場所の内装パネルを外す

2 梱包箱に印刷された型紙を使用して、取り付け位置を決め、穴をあける

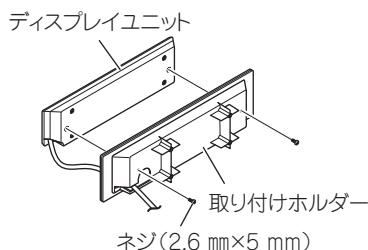
- 型紙は、梱包箱から切り取ってご使用ください。
- 取り付け穴が大きすぎると、走行中にディスプレイが外れるおそれがあります。必ず型紙を使用してください。
- 車両のパネルに穴をあけるときは、その背後にエアバッグ、電気配線、パイプ類、タンクなどが無いことを確認してください。



3 取り付けホルダー裏側の外周部に、両面テープを貼る

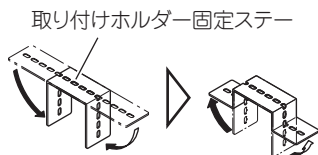


4 付属のネジを使用して、ディスプレイを取り付けホルダーに固定する

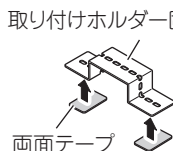


5 取り付けホルダー固定ステーを、取り付け場所の厚さとカーブに合わせて曲げる

- 取り付けホルダー固定ステーは、しっかりと固定するために硬めになっています。プライヤーや万力などを使用して曲げることをおすすめします。

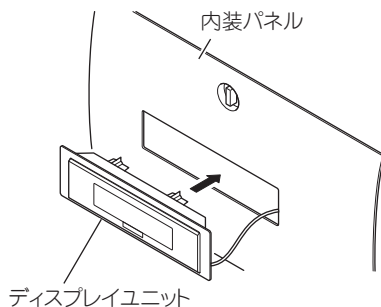


6 取り付けホルダー固定ステーの両端に、両面テープを貼り付ける



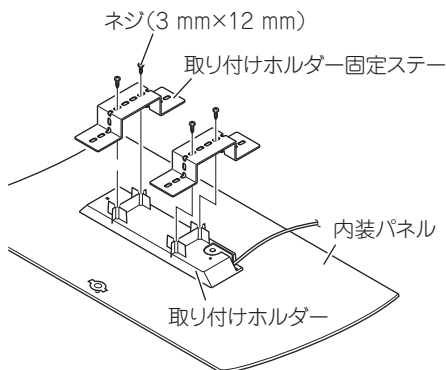
7 取り付け位置に、取り付けホルダーを取り付ける

- 取り付けホルダー裏側の両面テープで、取付位置に貼り付けてください。



8 車両のパネルに固定する

- しっかりと固定されていることを確認してください。ネジが緩んでいたたり、ガタついていると、走行中に外れるおそれがあります。



9 ディ스플레이ケーブルの処理をする

- ケーブルは、運転操作の妨げにならないように固定してください。
- ケーブルと車両の板金などが干渉する場合は、ケーブルに保護クッションを巻いてください。

10 内装パネルを元に戻す

ステアリングリモコンの取り付け



ご注意

- 車両によっては、ステアリングリモコンが取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 両面テープを貼り付ける場所は、中性洗剤などで油分、汚れを落としてください。



コード類の配置に関するご注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないようテープなどでまとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- クランプなどによって要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにコードを引き回します。

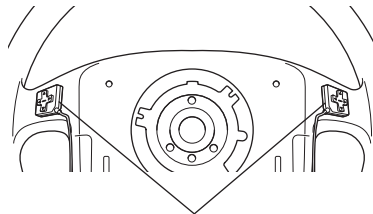


ステアリングを取り外す場合のご注意

- ステアリングを取り外して作業する場合は、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に作業を依頼してください。誤った取り付け・配線をする、車両に重大な支障をきたす場合があります。

1

ステアリングリモコンの取り付け位置を決める

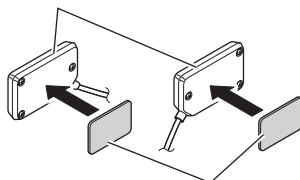


ステアリングリモコン取付位置例

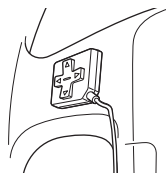
2

ステアリングリモコンを、ステアリング裏側に貼り付ける

ステアリングリモコン

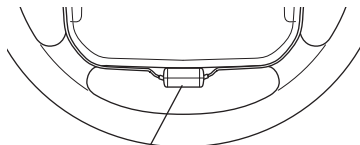


両面テープ(小)



3

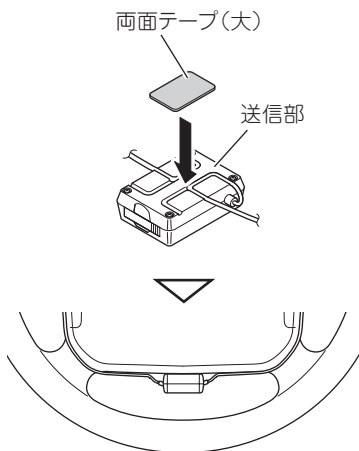
送信部の取り付け位置を決める



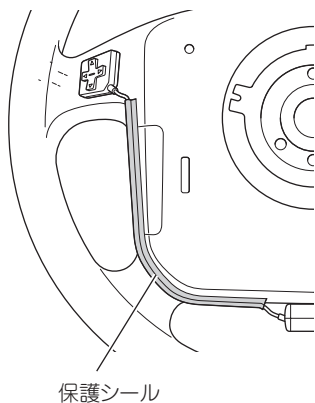
送信部

4 送信部をステアリング下部に貼り付ける

- 電池の交換がしやすいように、電池トレーを手前に向けて貼り付けてください。
- ケーブルが長すぎる場合は、送信部の溝に挟み込んでください。



5 ステアリングリモコンのケーブルを、保護シールで保護する

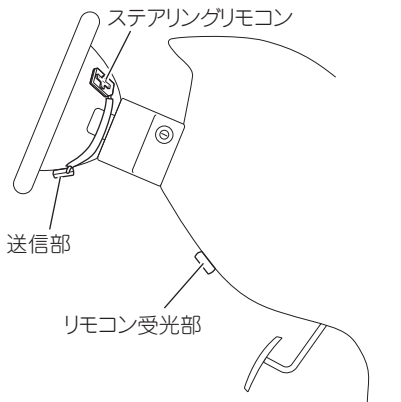


6 リモコン受光部を、ステアリングコラムカバーの下部に取り付ける



ご注意

- 送信部の取付位置に応じて、リモコン信号の送受信ができる場所に、リモコン受光部を設置してください。
- 送信部とリモコン受光部の間に、障害物がないことを確かめてください。
- リモコン受光部のケーブルは、運転操作に支障がないように引き回してください。ステアリングなどにかみつくと、事故の原因となります。



7 リモコン受光部のケーブルを処理する



ご注意

- クランプやテープなどを使用して、運転操作に支障がないようにケーブルを引き回してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください (➡11ページ)。

それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」をお読みにになり、修理を依頼してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 (➡57～62ページ)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。 (➡57ページ)
リモコンでの操作ができない。 ボタンを押しても、正しく操作できない。	電池が弱っている。	新しい電池と交換してください。 (➡9ページ)
音が出ない。 音量が上がらない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 (➡57～62ページ)
	音量を下げている。	音量を上げてください。 (➡12ページ)
音が出ない。 音が小さい。	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (➡51ページ)

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

おもな仕様

共通部

使用電源：	DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式：	マイナスアース方式
最大消費電流：	1.0 A
外形寸法	
(ディスプレイ部)：	165 (W) × 44 (H) × 16.4 (D) mm
(ハイダウエイ部)：	252 (W) × 40 (H) × 152 (D) mm
質量	
(ディスプレイ部)：	0.13 kg (コードユニット含まず)
(ハイダウエイ部)：	1.5 kg

オーディオ部

入力	
(アナログ)	
ライン：	1.5 V
スピーカー (AUX1、AUX2)：	10 V
(デジタル)	
LPCM：	44.1 kHz ~ 96 kHz
出力	
(デジタル)	
LPCM：	44.1 kHz

付属品

コードユニット：	1式
取り付けネジ類：	1式
取り付け金具：	1式
取り付けテープ類：	1式
取り付けベース：	1式
フラッシュマウントキット：	1式
受光部ユニット：	1式
ステアリングリモコン：	1式
(ボタン電池つき)	
カードリモコン：	1
(ボタン電池つき)	
取扱説明書：	1
取り付け時のご注意：	1
安全上のご注意：	1
保証書：	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内：	1



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター (全国共通フリーフォン)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** [一般電話] **03-5496-8016**
ファックス **03-3490-5718**
インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81028** [一般電話] **03-5496-2023**
ファックス ☎ **0120-5-81029**
インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 [一般電話] **098-879-1910**
ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81095** [一般電話] **0538-43-1161**
ファックス ☎ **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2007

<KSNZF> <07D00000 > <CRA4011-A>